

和の家通信

編集発行 認定NPO法人支えてね트워크
 発行日 平成28年3月30日
 住所 〒754-1102
 山口県山口市秋穂西1267-1
 ☎083-984-3742
 (皆幸せに)
 ブログ <http://blog.canpan.info/sasaetene/>

『ファンドレイジング』の取り組みを開始しました

<ファンドレイジングとは>(Wikipedia より引用)

民間非営利団体が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称です



↑ ファンドレイジング連続セミナーの様子

私たち支えてね트워크は、「誰も取りこぼすことのない駆け込み寺となり、県内全てのひきこもりの社会参加を実現する」というミッションの実現へ向けた活動として、居場所や就労体験の場を運営しています。これらの活動をより充実したものとするために、これまで財源的な基盤整備を目的とし、認定NPO法人の取得、寄附つき商品プロジェクト「支え人。」への参加などを行ってきました。

今年度は、6月から10回以上にわたり、山口市市民活動支援センターさぼらんての渡邊洋子氏、山口県共同募金会の久津摩和弘氏他を迎え、当団体の理事・スタッフ・利用者有志らで「ファンドレイジング」の連続セミナーを実施しました。ファンドレイジングは直訳すると資金調達ですが、金銭的な支援にとどまらずボランティアとしての支援を募ることなども含みます。

当初はファンドレイジングがどういうものかわかっていない状態で、久津摩氏から手とり足とりの教えを受けました。基本的な概要から始まり、当団体の資金状態の見直しや既存寄附者・潜在的寄附者の分析の重要性などを整理していきましました。また、現在当団体に関わっている理事やスタッフ、既存のボランティアなどを、より巻き込むための方策や、実際に寄附を募る時

に必要な、チラシやパンフレット、ホームページなども検討しました。寄附などの支援を受けた時は感謝を伝えて、どのような活動に支援が活かされているかを報告することの重要性も学ぶ事が出来ました。

また、「プロボノ」※1という方々の存在を知りました。専門性の高い方がその技術を活かした支援を行うボランティア形態です。私たちも、これら「プロボノ」を巻き込むべく営業や広報の経験者を募集したところ、志のある方々に応募して頂きました。「プロボノ」の方々にも話し合いに参加して頂き、ファンドレイジングを進めていきました。

これらの後に、いよいよ「ファンドレイジング計画」を立てることになりました。目標額の設定と年間実施計画の策定です。この段階はとても重要なポイントなのですが、立案段階になるととても難しくなかなか上手くいきませんでした。課題解決のため必要な資金の見積もりと、それらを集める寄附や募金のメニュー（募金箱や古本募金、高額寄附者優遇策など）の検討です。必要な基礎資料の乏しさや、既存事業の収支計画のあいまいさなどを痛感し、これらの整備を同時に進行している状況です。

4月以降に、いよいよ実際のファンドレイジングの実施になります。この1年間に学んだことを踏まえ、私たちの活動に共感し支えて下さる仲間を増やし、またそれらの方々の期待に応えられるような取り組みを行っていきたくと考えています。

※1 プロボノ＝各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般。また、それに参加する専門家自身のことを表す。

